

家庭教育学級活動報告

園・学校名	羽島市立桑原学園
活動名 (テーマ)	親子メディアコントロール
活動内容	1 メディアコントロール習慣の実施 (1) チェックシート、めあて設定の確認・徹底 (2) 保健だよりの発行 ・(実施前) 取組の目的と内容、メディア長時間使用による身体への影響、家族へ協力依頼を記載。 ・(実施後) 取組結果、児童生徒の振り返り、保護者の感想を記載し、すぐーるで配信。また、「メディア達人の教え」を記載し、今後のメディアコントロールに繋がる保健だよりを作成。 2 健康安全委員会のキャンペーンの実施 (1) 養護教諭による保健指導 ・取組目的や適切な目標設定等を指導。また、全教職員へ「メディアに代わるおすすめの過ごし方」を聞き、保健室前廊下に掲示。 (2) 委員会キャンペーンの実施 ・メディアコントロール取組後に、委員会主催で「メディアチェックビンゴ」のキャンペーンを実施。各学年対抗、メディアコントロールの意識継続と習慣化を図った。 3 家庭での実施状況、反省や感想(保護者・本人)の紹介 ・チェックシートの提出、反省や感想の交流、保健だよりにやお昼の放送で紹介 ・夏休み作品展、授業参観後の学級懇談会等で、保護者へ紹介
活動の様子	 【小学校・前期課程】 ・メディアのせいで起きられなかったり、生活リズムが変わったり、乱れていたりしたけど、7日間を通して生活リズムなどを見直すことができた。 ・メディアの使いすぎは視力低下につながるの、普段からメディアの時間を意識したい。 【中学校・後期課程】 ・意外とメディアは知らぬ間に触っているので、その触っている時間を記録でき、自分の使用時間の長さを実感できた。 ・自分でスマホの制限機能を設定し取り組むことができた。 ・睡眠の質を上げるために、寝る前のノーメディアや、寝る時間を決めて早く寝よう、意識することができた。 【保護者】 ・「何時からのテレビ見たいから、お手紙書いたりしよう～」と言いながら取り組んでいて成長を感じました。 ・親が関われる時間を作れるかどうかでも大事でした。トランプをすることで、メディアの時間を減らしました。 ・家族全員で声掛けをし、取り組むことができました。 ・目標を忘れてしまうことがあるので、目標を別の用紙に書いて、冷蔵庫等の目につくところに貼ってみようと思いました。